

本編に登場する主要な人物及び地域に関する地図①②③

第十三章

病院、奮戦す

医療は続ける。医師免許を返上しても構わない

今日が乗り切れても／制度に殺される／立てこもる覚悟／まずは水と食料だ／えっ？ 爆発した？／私たちは残ります／どの程度危険なの？／信頼されているから／最後のサイレン／患者がもたない……／調整役がない／そっとしておいて／見ないと分からない

困難を極める、被災地での医療再生

30キロ圏「応援出せぬ」／個別に対策打たねば／つなぎとめる手は／タテ割りを超えて

## 吹き流しの町

／ええーっ、福島あ？／入院再開は難しい／月10万円の重さ／町・県・国、ばらばら／大臣室でのがっかり／最低ライン守る選択／避難バス認められず／「仕方ないです」つて／いま何かあったら／まま、すこーい

東から風が吹けば、

この町は放射能の危険にさらされる

東風だ、ヨウ素剤を／同じ匂いにする男／国から情報は来ない／初めて見た茶色の薬／薬のこと、調べよう／風向きをとらえなければ／13万円の溪流ざお／子どもにどう飲ませるか／課長会やつから来い／質問するな、意見をいえ／「責任は、俺が取る」

町独自の判断で、安定ヨウ素剤の服用を決定

山では決断し続けた／町は配ると決めた／マニュアルは無視だ／不安にさせぬ言葉で／今日こそ飲ませる日／「町の底力」整然と／そのころ、国と県は／三春町のやり方で／決断、それが現場

## 除染の悩み

除染作業が住民の負担にゆだねられている現実

野放しのライオン／まるでサンドバッグ／炎天下、地面と格闘／国へ容赦なく注文／説明会に観音さま／みんなが頭を下げた／怒りと疑問噴出／マンガ付きで説明／家の中を下げるため／家が緑色になった

いつまでたっても腰の据わらない、行政当局の除染施策

環境省ではないです／同じこと聞かれたよ／スーツで来ないで／家壊してでも作業を／考えるより試して／土ごとポリマー加工／汚泥処理に一筋の光／保管場所こそ問題／今、そこにある放射能

## カワセミ日記

原発から33キロ。抜け落ちた避難指示

巢穴発見「これだ！」／封じられた星降る里／気づかなかった脅威／33キロ離れていれば／長泥は抜け落ちた／なぜ防護服なんだ／小さな営み、淡々と／そしてコイが死んだ／浮かんだ相関関係／カードキーにしてほしい／出稼ぎして家守った

村が、家族が、そして心が分断されていく

2カ月暮らした不安／なんで今になって／東電基準は30分の1／「家がほしい」切実  
／息づく開拓の歴史／家族も心も分断する／村がズタズタになる／昔には戻れない  
のか／楽園を記録し続ける

## 第十七章

### がれきの行方

放射性物質の拡散の恐れが、がれきの広域処理を阻む

知恵を出そう／3年で終わらせよう／3千億円規模か／ボートを調達しろ／関西か  
ら助っ人／引き算はしない／受け入れられない／国の基準に戸惑った／納得できる  
説明を／推計減っても県外へ

頑なに「広域処理」にこだわり続ける環境省

防潮林をつくろう／放置された提言／小さな丘をつくろう／広告会社を頼った／取  
材の場を「演出」／PR記事なのに／「大幅修正が必要だ」／大臣発言すべて載せて  
／110キロ離れているのに／激務に耐えられるか／現場を見てひらめいた／国は  
マニユアル頼み

## 地底をねらえ

貧しい自治体がねらわれる核廃棄物の最終処分場

「ニューモ」から電話／幽霊団体の篠田氏／「政権中枢の依頼で」／これはかなわんと  
／高級車と老舗の菓子／見事に1銭も出ん／退職覚悟／3本目の十字架／国から毒  
まんじゅう／全身に響く通底音

結局行き詰まっている、核廃棄物の地下埋設

主婦をバカにしたな／88カ所の候補地／誇りあるアトム会／出発点は深海投棄／名  
前に「ゴミ」がない／課長以上が8割弱／「記事」付き全面広告／試されるジャーナリ  
ズム／県民に苦しい説明／動かない工場の役割／「明確に活断層です」／疑わしきは  
止めず／カネ濟けになった／これは巧妙な罠です

福島第一原子力発電所事故全記録〔2012年6月～2012年10月〕

おわりに

